



災害時における社会資源としての社会福祉施設のありかた研修 ～BCPへの反映を考える～

この研修は、きょうと福祉人材育成認証制度の支援メニューです

1. 趣 旨

南海トラフ地震や豪雨による水害など大きな自然災害がいつ発生してもおかしくない中で、発災時に利用者の命と生活を守る社会福祉施設は対応策を日頃から準備しておくことが重要視されています。

特に、発災時の事業継続については社会福祉施設や事業所独自の取組だけでなく、自分たちは地域を支える重要な社会資源であることを踏まえたうえで事業継続を考えることが必要不可欠です。

本研修は、平時の社会福祉施設と地域とのあり方を振り返りながら、防災・減災の視点をかえて整理し、発災時における社会資源としての社会福祉施設の役割について理解を深めることを目的としています。また、DWAT(災害時要援護者支援チーム)を含めた外部からの応援を受け入れる「受援力」に焦点を当て、社会福祉施設における「支援を受け入れる力(受援力)」とは何か、社会福祉施設の「受援力」とはどのようなものか、どう考えたらよいか、BCPにどのように盛り込めばよいか、について学びます。

2. 主 催 京都府福祉人材・研修センター

3. 受講対象 社会福祉施設職員・市町村社会福祉協議会職員(全階層向け)

4. 日時・会場・定員

日程	会場	定員
令和8年2月13日(金) 12:30(受付開始)～16:30	オンライン(zoom)	40名

5. 受 講 料

受講生 1名につき 1,000円

この研修は非課税です。適格請求書は発行いたしません。受講決定通知に同封する払込取扱票にてお支払いください。払込手数料はご負担願います。

6. 研修内容

12:30～13:00	受付
13:00～13:10	開会挨拶・オリエンテーション
13:10～16:20	【講義・報告・演習】
16:20～16:30	閉会・アンケート記入

講 師

華頂短期大学 教授 武田康晴 氏

報告者

社会福祉法人 同和園 常務理事園長 竹田史門 氏
社会福祉法人南山城学園 障害者支援施設 輝 副施設長 佐藤走野 氏

7. その他

(1) 参加申込について

令和8年1月28日(水)17:00までに、グーグルフォーム申込フォームよりお申込みください。(https://forms.gle/tcuDuHmJpcdL8oEh7)
右記二次元コードからも申込できます。送信後、確認メールが送られてこない場合は必ず問合せ先までお電話ください。
※確認メールは受講を確定するものではありませんのでご了承ください。
※土日祝日は電話の応対ができませんのでご了承ください。
定員を超過した場合は抽選により受講者を決定します。受講の可否については、令和8年2月6日(金)までに文書にて御連絡いたします。

申込 QR コードは
こちら



(2) 受講料について

受講料は、受講決定通知書に同封する「払込取扱票」により令和8年2月13日(金)までにお支払いください。払込手数料は御負担願います。なお、受講の事前取消し、当日の欠席の場合でも、払い済み後の受講料はお返しいたしませんので予め御了承願います。

(3) 個人情報の取り扱いについて

「参加申込フォーム」に記載された個人情報は、当研修の適正かつ円滑な実施の目的のみに利用させていただきます。

(4) 写真・動画の撮影について

本会の広報活動の一環として、X やインスタグラムなどのSNSを運用しています。
本研修についても写真や動画を撮影し、それらをSNSで公開する場合があります。写真や動画の撮影に同意されない場合は、申込フォームの該当欄に□をお入れください。おひとりでも承諾いただけない場合は、撮影を行いません。

(5) 領収証

すべての研修で領収証の発行は行っていません。

【実施機関】 京都府社会福祉協議会 京都府福祉人材・研修センター

研修課 (担当:岡村 mail:kenshu@kyoshakyo.or.jp)

- TEL:075-252-6296 FAX:075-252-6312
 - 〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町 375 ハートピア京都地下1階
-